

2019年6月6日  
株式会社電通デジタル  
株式会社電通

## 電通デジタルと電通、 「People Driven DMP<sup>®</sup>」と「Salesforce Audience Studio」の 相互データ連携によるソリューションの提供を開始

株式会社電通デジタル（本社：東京都港区、代表取締役社長：鈴木 禎久、以下、電通デジタル）は、株式会社電通（本社：東京都港区、社長：山本 敏博、以下、電通）と共同で、電通グループ独自の統合マーケティングプラットフォームである「People Driven DMP<sup>®</sup>※1」と、セールスフォース・ドットコムが提供する Salesforce Marketing Cloud 製品群の一つである「Salesforce Audience Studio<sup>※2</sup>」の相互データ連携によるソリューションの提供を本日より開始します。これにより、顧客のニーズや嗜好を“人”単位でより深く捉え、パーソナライズしたブランド体験を構築し、エンゲージメントを強化していくことが可能になります。

データ管理基盤である「Salesforce Audience Studio」は、自社が保有する 1st パーティデータと外部から得られる 2nd、3rd パーティデータの統合を可能にし、顧客との関係強化に活用できるプラットフォームです。また同様に、電通グループの「People Driven DMP<sup>®</sup>」は、さまざまなオーディエンスデータや各種メディアの接触データ、購買データ、位置情報データなどを人（People）基点で活用することができるプラットフォームとなっています。

今回の取り組みは、これら 2 つの DMP を相互データ連携させることで、より詳細に顧客のニーズや嗜好を捉え、顧客とのエンゲージメント強化に資する広告配信やデジタルプロモーションを実現することにその狙いがあります。また、両 DMP の Cookie シンク<sup>※3</sup>により、スムーズかつ高度なマーケティング施策の実現が可能になります。

今後も電通グループは、信頼のあるデータとの相互連携や最新テクノロジーとの連携を推進し、より高度なソリューションを顧客企業に提供してまいります。

※1 : People Driven DMP®

People Driven DMP®は、PC やスマートフォン由来のオーディエンスデータと、STADIA のテレビの視聴ログデータ、WEB 広告接触データ、OOH 広告接触データ、ラジオ聴取ログ、パネルデータ、購買データ、位置情報データ等を人（People）基点で活用することができる、People Driven Marketing®のデータ基盤です。さらなる強化のために、People Driven パートナーシッププログラムを通じ、「メディア/コンテンツ」「デジタルプラットフォーム」「EC・購買」「パネル/メジャメント」「位置情報」などの各種パートナーと、データやテクノロジーの連携によるビジネス・アライアンスを推進しています。

※2 : Salesforce Audience Studio

Salesforce DMP の新名称

※3 : Cookie シンク

ウェブサイト訪問時やバナー広告表示の際に割り振られた暗号化された ID（Cookie）を、別のドメインで発行された Cookie に紐づけ、統合・管理すること。

以 上

**【本件に関する問い合わせ先】**

株式会社電通デジタル コーポレートコミュニケーション部 広報グループ  
島津・南口 TEL : 03-6217-6036  
Email : [press@dentsudigital.co.jp](mailto:press@dentsudigital.co.jp)

株式会社電通 コーポレートコミュニケーション局 広報部  
溪・竹村 TEL : 03-6216-8041

**【事業に関する問い合わせ先】**

株式会社電通デジタル ソリューションディベロップメント事業部  
坂本・矢内 Email : [solution-sales-dt@dentsudigital.co.jp](mailto:solution-sales-dt@dentsudigital.co.jp)

株式会社電通 データ・テクノロジーセンター  
濱口・猪飼・山崎 TEL : 03-6216-8526